

産業環境委員会報告資料

令和3年1月20日

報告事項件名	頁
(1) 環境基本計画中間見直し等の検討状況について	2
(2) 「おもしろSDGsフェア」の開催について	12
(3) 足立区ごみ出しアプリの機能の一部停止について	13

(環境部)

産業環境委員会報告事項

令和3年1月20日

件名	環境基本計画中間見直し等の検討状況について
所管部課名	環境部環境政策課
内容	<p>現在、環境審議会に諮問し、環境基本計画の見直し及び地域気候変動適応計画、食品ロス削減計画の策定を進めている。令和2年度第4回環境審議会における審議状況等について、以下のとおり概要を報告する。</p> <p>1 日時・場所・出席委員数</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和3年1月7日（木）15時から17時・ 区役所8階特別会議室・ 15名の委員のうち14名出席（オンライン9名、会場5名） <p>2 審議事項</p> <p>(1) 環境基本計画の体系（案）について（別紙1）</p> <p>(2) 食品ロスの発生量推計及び目標設定の考え方について（別紙2）</p> <p>(3) 夏の気温の将来予測について（別紙3）</p> <p>3 主な意見・質問等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 環境基本計画の柱4が生物多様性地域戦略を兼ねていることを明確に示すため、施策群に生物多様性という表現が含まれるとよい・ 事業系食品ロス量の推計が難しく、全国の数字から推計することは理解するが、区内の事業者の削減努力が把握できる指標も必要・ 食品ロス削減目標は、家庭だけでなく事業系も含めて設定すべき <p>4 次回開催予定</p> <p>令和3年3月26日（金）15時から</p>
問題点 今後の方針	今回の審議会でもいただいたご意見等を整理し、引き続き環境審議会でも議論を深め、来年度の策定を目指す。

件名	環境基本計画の体系（案）について
	<p>環境基本計画の体系について、施策群を見直し、新たに環境基本計画に兼ねる計画等を整理した。現行計画との対比及び見直しの理由等は4～6ページのとおり。</p> <p>今後、施策群ごとの目標や指標を整理していく。</p> <p>1 見直しをした施策群</p> <p>(1) 柱1 地球温暖化・エネルギー対策</p> <p>1-2 低炭素なエネルギーの利用拡大</p> <p>1-3 CO₂吸収量の増大と気候変動の影響への適応</p> <p>(2) 柱2 循環型社会の構築</p> <p>2-1 廃棄物減量の推進</p> <p>2-2 持続可能な資源利用への転換</p> <p>2-3 廃棄物の適正処理</p> <p>(3) 柱4 自然環境・生物多様性の保全</p> <p>4-1 自然や生物とふれあう機会の提供</p> <p>4-2 生物多様性への理解と取組みの推進</p> <p>4-3 多様な生物が暮らす自然環境の保全と創出</p> <p>(4) 柱5 学びと行動のしくみづくり</p> <p>5-1 環境情報の発信と環境意識の向上</p> <p>5-2 環境学習の推進と人材育成</p> <p>2 新たに環境基本計画に兼ねる計画等</p> <p>(1) 気候変動適応法に基づく（仮）足立区における気候変動の影響に備える計画</p> <p>(2) 食品ロス削減推進法に基づく（仮）足立区食品ロス削減計画</p> <p>(3) （仮）足立区プラスチックごみ削減方針</p>

現行計画の施策群	見直し案の施策群	見直しの理由等
柱1 地球温暖化・エネルギー対策		
1-1 エネルギーの効率的な利用	1-1 エネルギーの効率的な利用	(変更なし)
1-2 低炭素なエネルギーの利用拡大	1-2 再生可能エネルギーの利用拡大	脱炭素に向け、発電時に二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーの拡大を明確化するため
1-3 CO ₂ 吸収量の増大と気候変動の影響への適応	1-3 二酸化炭素吸収量を増やす取組みの推進	旧1-3から二酸化炭素削減につながる分を分離
	1-4 気候変動による被害の回避・軽減	旧1-3から気候変動の影響への備えについて分離
※ 柱1を地球温暖化対策推進法に基づく足立区地球温暖化対策実行計画に位置付け	※ 1-1、1-2、1-3を地球温暖化対策推進法に基づく足立区地球温暖化対策実行計画に位置付け	柱1のうち、二酸化炭素削減につながる施策群を足立区地球温暖化対策実行計画に位置付け
	※ 1-4を気候変動適応法に基づく(仮)足立区における気候変動の影響に備える計画に位置付け	気候変動適応法が制定され、新たに気候変動の影響に備える計画の策定が努力義務となったため

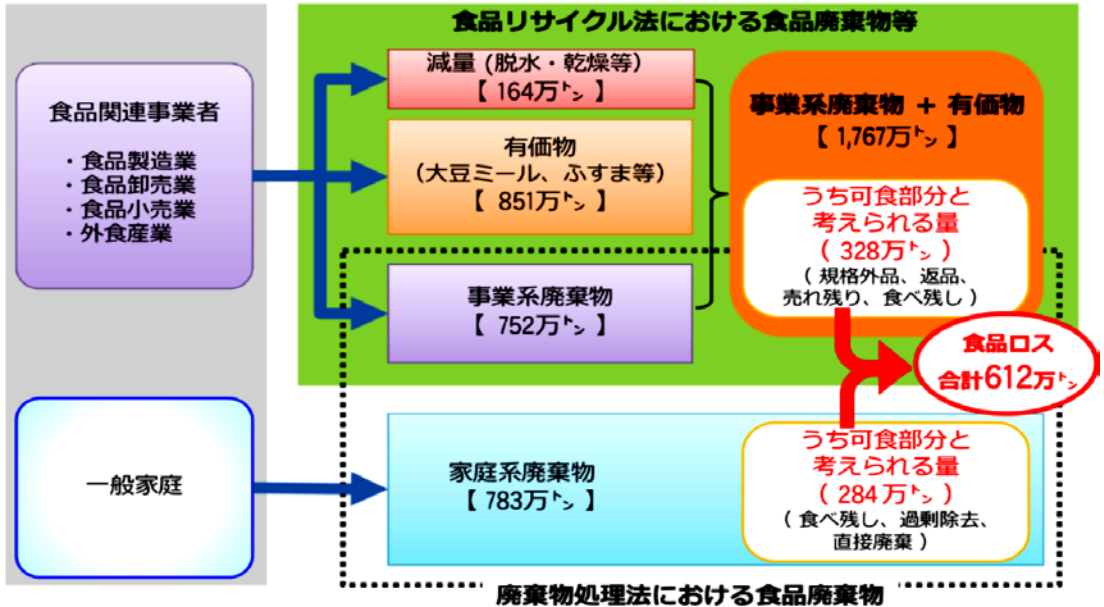
現行計画の施策群	見直し案の施策群	見直しの理由等
柱2 循環型社会の構築		
2-1 廃棄物減量の推進	2-1 リデュースとリユースの推進	柱2を廃棄物の流れに沿って整理した。2-1は廃棄前の段階として、なるべくごみを出さないことを施策群とした。
2-2 持続可能な資源利用への転換	2-2 廃棄物の適正な排出と処理	2-2は廃棄時の段階として、適正に排出することと、廃棄物を効率的に処理することを施策群とした。
2-3 廃棄物の適正処理	2-3 持続可能な資源利用への転換	2-3は収集後の段階として、収集した廃棄物をなるべく資源化することを施策群とした。
	※ 柱2のうち、食品の廃棄に関することは食品ロス削減推進法に基づく（仮）足立区食品ロス削減計画に位置付け	食品ロス削減推進法が制定され、計画策定が努力義務となったため
	※ 柱2のうち、使い捨てプラスチックに関することは（仮）足立区プラスチックごみ削減方針に位置付け	プラスチックごみ問題が世界的な課題となっている中、区としての削減の方針を定めるため
柱3 安全・安心で快適なくらしの確保		
3-1 生活環境の保全と公害対策の推進	3-1 生活環境の保全と公害対策の推進	（変更なし）
3-2 快適で美しいまちづくり	3-2 快適で美しいまちづくり	（変更なし）

現行計画の施策群	見直し案の施策群	見直しの理由等
柱4 自然環境・生物多様性の保全		
4-1 自然や生物とふれあう 機会の提供	4-1 自然や生物に対する理 解の促進	ふれあいの機会を提供する 中で生物多様性の理解促進 を図る方が望ましいため、 施策群を統合した
4-2 生物多様性への理解と 取組みの推進		
4-3 多様な生物が暮らす自然 環境の保全と創出	4-2 自然環境の保全と創出	「多様な生物が暮らす」は 具体的に把握することが難 しいため削除した
※ 柱4を生物多様性基本法 に基づく、足立区生物多 様性地域戦略に位置付け	※ 柱4を生物多様性基本法 に基づく、足立区生物多 様性地域戦略に位置付け	(変更なし)
柱5 学びと行動のしくみづくり		
5-1 環境情報の発信と環境 意識の向上	5-1 環境意識の向上と行動 する人材の育成	情報発信と環境学習を通じ て環境意識を向上させるこ とが望ましいため、施策群 を統合した
5-2 環境学習の推進と人材 育成		
5-3 環境保全活動の拡大	5-2 環境保全活動の拡大	(変更なし)
※ 柱5を環境教育等促進法 に基づく、足立区環境教 育等行動計画に位置付け	※ 柱5を環境教育等促進法 に基づく、足立区環境教 育等行動計画に位置付け	(変更なし)

件 名 食品ロスの発生量推計及び目標設定の考え方について

食品ロス発生量の推計方法を整理したので、以下のとおり示す。

1 日本の食品ロスの状況



出典：農林水産省食料産業局「食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢」

2 食品ロス量の推計方法

(1) 家庭系食品ロス量の推計方法

燃やすごみの量に区組成調査の食品ロス（直接廃棄および食べ残しの量）の割合を乗じて推計する。

$$\text{ごみ量} (126,170 \text{ t}) \times \text{食品ロス割合} (6.2\%) \div 7,822 \text{ t} \quad (2019 \text{ 年度推計})$$

(2) 事業系食品ロス量の推計方法

- A案 国が公表する食品ロス量を用いて、推計する方法
 国の食品ロス量 × 区内食品関連事業所の従業員数の対全国比
- B案 足立区のごみ量を用いて、推計する方法
 燃やすごみ（区算出） × 食品ロスの組成割合
- C案 事業者に対し、独自に調査を実施する方法
 事業者より食品ロス量または割合のアンケートを行う。
 区内全体の事業系食品ロスを把握するにあたり、調査の精度やコスト、実現性の観点から3案を評価した（表1）。

表1 3案の評価

	A案	B案	C案
調査の精度	△	△	△
コスト	○	×	×
実現性	○	△	×

表2 推計方法の比較

A案 国の食品ロス等を用いる	
$\text{国の食品ロス量} \times \text{区内食品関連事業所の従業員数の対全国比}$	
評価	精度に課題があるが、定期的に集計を行うことが可能。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、国の食品ロス量は2年遅れ(※1)で発表される。 ・ 経済センサス調査は2～3年毎に行われる(※2)ため、足立区の按分となる事業規模は毎年更新されない。 ・ 推計した食品ロス量に足立区の実業規模を掛け合わせた数値となり、精度に課題がある。
B案 足立区のごみ量を用いる	
$\text{燃やすごみ(区算出)} \times \text{食品ロスの組成割合}$	
評価	区全体の食品ロス量が把握できない。また、調査するために新たなコストがかかる。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区の産業廃棄物量の特定が困難であるため、区全体の食品ロス量を把握することができない。 ・ 事業者による持ち込みごみ等の組成調査を新たに行う必要があり、費用、時間がかかる。
C案 事業者に対する調査	
アンケート等による食品ロス量または割合等の調査	
評価	調査に際して事業者の十分な理解と協力を得ることが不可欠であり、実現性や調査の精度に課題がある。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査にあたり、事業者と定義や算出方法等の共通認識を持ち、正確な数字を得ることは難しい。 ・ 定期的な調査を行うことは、事業者にとって負担となり協力を得ることが困難である。

※1 今年度、2017年度(平成29年度)の実績が発表された。

※2 経済センサス基礎調査(2009年、2014年、2019年)と、活動調査(2012年、2016年、2021年予定)は交互に実施されている。

表1、2を勘案し、A案により事業系食品ロスの推計を行いたい。

(3) 足立区の事業系食品ロス量の推計

国の食品ロス量（2017年度）をもとに事業系食品ロス量を推計した。

表3 全国の従業者数をもとにした足立区の食品ロス量（推計）

産業中分類（食品関連）	全国		足立区	
	従業者数	食品ロス量	従業者数	食品ロス量
食品製造業数	1,291,141	121万t	2,630	2,465t
飲食料品卸売業	788,766	16万t	4,340	880t
飲食料品小売業	3,100,252	64万t	14,511	2,996t
飲食店	4,120,279	127万t	19,361	5,968t
合計	9,300,438	328万t	40,842	12,308t

※ 足立区は小規模事業所が多いため、規模を示す従業員数で算出する。

※ 端数処理のため、合計が一致しない場合がある。

※ 従業員数は経済センサス活動調査(2016年6月1日時点)による。

3 食品ロス削減目標の設定について

足立区内の食品ロス量について、家庭系は7,822t（2019年度）、事業系は、12,308t（2017年度）と推計されるが、国や東京都の目標設定等を踏まえ、区の目標設定の考え方は以下のとおりである。

(1) 国および東京都の食品ロス削減目標

2030年度に2000年度比で半減する。

(2) 足立区基本計画の指標

家庭系の燃やすごみに含まれる未利用食品の割合を2024年度に2.76%に減らすこととした。この数値は、2014年の未利用食品の割合(3.5%)を基準とし、国や都と同様に2030年までに半減することを想定し、2024年の目標値を設定した。

(3) 他自治体では、目標設定について、以下のとおり検討中である。

表4 他自治体の目標設定例

長崎県	2025年度までに2019年度比で、家庭系及び事業系一般廃棄物の食品ロスを1人1日当たり10%削減、産業廃棄物の食品ロスを国の削減計画に準じ8%削減を目指す。 (長崎県食品ロス削減推進計画 検討案)
文京区	家庭から排出された区民1人1日当たりの食品ロスの量を2019年度比で2025年度までに10%、2030年度までに20%削減し、事業系食品ロスも、国や都と協力し、同程度の削減を目指す。 (文京区食品ロス削減推進計画 検討案)
台東区	家庭から排出された区民1人1日当たりの食品ロスの量を2019年度比で2030年度までに半減を目指す。 (台東区一般廃棄物処理基本計画 検討案)

件 名

夏の気温の将来予測について

前回の環境審議会では足立区周辺の雨量の将来予測を報告した。今回は、夏の気温予測結果がまとまったので、その概要を報告する。

1 予測の方法

文部科学省の気候変動リスク情報創生プログラムにより作成された「地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース」を用いて、2℃昇温、4℃昇温のケースを予測した。

2 夏の気温の予測**(1) 予測結果**

足立区周辺と東京アメダスに大きな差異はなかった。

(2) 最高気温が40℃以上になる日の日数

2℃昇温のケースでは年間0.1日、4℃昇温のケースでは年間1.3日最高気温が40℃以上になる可能性が示された。

(3) 真夏日（日最高気温が30℃以上）の日数

年間の真夏日日数は、現状に比べ、2℃昇温の場合は約1.4倍、4℃昇温の場合は約2倍となる。4℃昇温のケースでは、4月、11月にも真夏日になる可能性が示された。

	現状平年値	2020年実績	2℃昇温	4℃昇温
4月	記録なし	記録なし	0.0日	0.6日
5月	0.3日	記録なし	1.1日	4.6日
6月	2.5日	7日	5.5日	12.0日
7月	14.7日	7日	19.0日	24.2日
8月	21.6日	30日	25.5日	29.0日
9月	7.0日	10日	11.9日	19.4日
10月	0.1日	記録なし	0.5日	3.4日
11月	記録なし	記録なし	0.0日	0.1日
年間計	46.1日	54日	63.6日	93.3日

端数処理のため、合計が一致しない場合がある。

(4) 猛暑日（日最高気温が35℃以上）の日数

年間の猛暑日日数は、現状に比べ、2℃昇温の場合は約5倍、4℃昇温の場合は約16.2倍となる。4℃昇温のケースでは、5月、10月にも猛暑日になる可能性が示された。

	現状平年値	2020年実績	2℃昇温	4℃昇温
5月	記録なし	記録なし	0.0日	0.1日
6月	記録なし	記録なし	0.2日	1.1日
7月	0.6日	記録なし	3.5日	11.1日
8月	1.4日	11日	6.7日	18.2日
9月	0.2日	1日	1.0日	5.0日
10月	記録なし	記録なし	0.0日	0.1日
年間計	2.2日	12日	11.4日	35.6日

(5) 熱帯夜（日最低気温が25℃以上）の日数

年間の熱帯夜日数は、現状に比べ、2℃昇温の場合は約2.2倍、4℃昇温の場合は約3.6倍となる。4℃昇温のケースでは、5月、10月にも猛暑日になる可能性が示された。

	現状平年値	2020年実績	2℃昇温	4℃昇温
5月	記録なし	記録なし	0.0日	0.2日
6月	0.2日	記録なし	1.4日	5.0日
7月	6.4日	1日	14.1日	22.2日
8月	11.8日	19日	22.2日	29.1日
9月	2.1日	7日	6.6日	16.9日
10月	記録なし	記録なし	0.0日	1.0日
年間計	20.6日	27日	44.3日	74.4日

産業環境委員会報告事項

令和3年1月20日

件名	「おもしろSDGsフェア」の開催について																					
所管部課名	環境部環境政策課、一般財団法人足立区観光交流協会																					
内容	<p>株式会社丸井の協力を得て、SDGsの理解促進を図るためのイベントを実施する。地元の企業や子どもに人気の教材シリーズ「うんこドリル」のキャラクター「うんこ先生」とのコラボ、体験型ワークショップ、友好都市の物産展等バラエティ豊かなブースで多くの人々の興味を惹きつける。</p> <p>1 日時 令和3年2月19日（金）午後 5時から午後8時まで 20日（土）午前10時から午後8時まで 21日（日）午前10時から午後4時まで</p> <p>2 場所 クイズラリー：北千住マルイ1階店頭及びマルイ店内 物販・展示：北千住マルイ1階店頭 ワークショップ：北千住マルイ8階千住みんなの広場</p> <p>3 出展予定一覧</p> <table border="1" data-bbox="453 1200 1386 1610"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>ブース名</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラリー</td> <td>うんこドリルクイズラリー（※）</td> <td>20日・21日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">物販</td> <td>友好都市PR物産展</td> <td>19日～21日</td> </tr> <tr> <td>焼き菓子販売（※）</td> <td>20日・21日</td> </tr> <tr> <td>区内SDGs製品展</td> <td>19日～21日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">展示</td> <td>人と環境にやさしいサービス</td> <td>19日～21日</td> </tr> <tr> <td>ロスフラワー装飾</td> <td>19日～21日</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ</td> <td>ワークショップ（事前申込）</td> <td>20日・21日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 20日は午後4時で終了</p>	分類	ブース名	実施日	ラリー	うんこドリルクイズラリー（※）	20日・21日	物販	友好都市PR物産展	19日～21日	焼き菓子販売（※）	20日・21日	区内SDGs製品展	19日～21日	展示	人と環境にやさしいサービス	19日～21日	ロスフラワー装飾	19日～21日	ワークショップ	ワークショップ（事前申込）	20日・21日
分類	ブース名	実施日																				
ラリー	うんこドリルクイズラリー（※）	20日・21日																				
物販	友好都市PR物産展	19日～21日																				
	焼き菓子販売（※）	20日・21日																				
	区内SDGs製品展	19日～21日																				
展示	人と環境にやさしいサービス	19日～21日																				
	ロスフラワー装飾	19日～21日																				
ワークショップ	ワークショップ（事前申込）	20日・21日																				
問題点 今後の方針	1月25日号あだち広報、大型ビジョン広告、ホームページ、SNS、チラシ、ポスター掲示にて周知を行う。																					

産業環境委員会報告資料

令和3年1月20日

件名	足立区ごみ出しアプリの機能の一部停止について																																									
所管部課名	環境部ごみ減量推進課																																									
内容	<p>1 ごみ出しアプリの機能の一部停止</p> <p>iPhone 端末用の iOS 版と Android 端末用の AndroidOS 版のうち、iOS 版のごみ収集日等のプッシュ通知（お知らせ）機能を、令和3年4月1日より停止する。</p> <table border="1" data-bbox="419 698 1409 1070"> <thead> <tr> <th rowspan="2">主な機能</th> <th colspan="2">iOS 版</th> <th colspan="2">AndroidOS 版</th> </tr> <tr> <th>現行</th> <th>R3/4/1～</th> <th>現行</th> <th>R3/4/1～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プッシュ通知機能</td> <td>○</td> <td>×停止</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ごみの分け方・出し方検索機能</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>粗大ごみ申込機能</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他の機能</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プッシュ通知機能で発信している内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録した地域のごみ収集日を前日または当日にお知らせ ・ 台風や雪などの影響による収集予定を臨時にお知らせ <p>2 経緯</p> <p>足立区ごみ出しアプリは、導入から7年が経過し、システム保守やコストに課題があることから、令和3年度中に主な機能を足立区公式LINEに組み込む方向で検討している。</p> <p>そうした中、今般、iPhone用のプッシュ通知に関する基本ソフトの変更が発表され、プッシュ通知機能の継続に必要なサーバーの改修には、多額の経費（見積額：150万4800円）を要することが判明した。</p> <p>そこで急遽、改修の可否を検討した結果、活用予定期間の短さから費用対効果が乏しいとの判断に至ったため、やむを得ず、ごみ出しアプリの一部機能を停止する。</p> <p><参考データ> （令和3年1月5日時点）</p> <table border="1" data-bbox="427 1854 1425 2047"> <thead> <tr> <th></th> <th>iOS版</th> <th>AndroidOS版</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダウンロード件数</td> <td>約18,400</td> <td>約12,000</td> <td>約30,400</td> </tr> <tr> <td>プッシュ通知登録件数</td> <td colspan="2">内訳不明</td> <td>2,676</td> </tr> </tbody> </table>	主な機能	iOS 版		AndroidOS 版		現行	R3/4/1～	現行	R3/4/1～	プッシュ通知機能	○	×停止	○	○	ごみの分け方・出し方検索機能	○	○	○	○	粗大ごみ申込機能	○	○	○	○	その他の機能	○	○	○	○		iOS版	AndroidOS版	合計	ダウンロード件数	約18,400	約12,000	約30,400	プッシュ通知登録件数	内訳不明		2,676
主な機能	iOS 版		AndroidOS 版																																							
	現行	R3/4/1～	現行	R3/4/1～																																						
プッシュ通知機能	○	×停止	○	○																																						
ごみの分け方・出し方検索機能	○	○	○	○																																						
粗大ごみ申込機能	○	○	○	○																																						
その他の機能	○	○	○	○																																						
	iOS版	AndroidOS版	合計																																							
ダウンロード件数	約18,400	約12,000	約30,400																																							
プッシュ通知登録件数	内訳不明		2,676																																							

	<p>3 利用者への案内と対応</p> <p>(1) プッシュ通知サービスの利用者に対して、機能の一部停止についてプッシュ通知で予告をするとともにお詫びの連絡を行う。</p> <p>(2) プッシュ通知が停止した後も、アプリで直近の収集日を確認できることを周知するほか、アプリ内で見ることができるごみ出しカレンダーを案内するなど丁寧な説明を行っていく。</p> <p>(3) あだち広報や区ホームページ、フェイスブック・ツイッター等により周知する。</p>
<p>問 題 点 今後の方針</p>	<p>足立区公式 LINE への機能追加に向けて、報道広報課と連携して準備を進めていく。</p>